

関係機関・団体長
病害虫防除員
農薬管理指導士 } 様

山口県病害虫防除所長

野菜・花き類のチョウ目害虫の発生状況と防除対策について（技術資料第6号）

野菜類、花き類のチョウ目害虫について、下記のとおり技術資料を送付しますので、防除対策の徹底をよろしくお願いいたします。

記

1 発生状況

表1 10月中旬の巡回調査における発生状況

害虫名	発生状況			フェロモントラップ 9月3半旬～10月 2半旬（山口市）
	キャベツ (平年比)	ハクサイ (平年比)	はなっこりー (昨年比)	
ハスモンヨトウ	多	多	多	やや多
ウワバ類	多	多	多	—
オオタバコガ	やや多	やや少	多	やや少
ヨトウガ	多	平年並	多	—
モンシロチョウ	やや多	やや多	多	—
コナガ	やや少	やや多	少	少

2 今後の予想

現在、チョウ目害虫の発生が多かったことから、幼虫が継続的に発生すると考えられる。

3 防除対策

ほ場を見回り、幼虫の多発生を確認したら直ちに薬剤防除を実施する。

薬剤散布後もこまめにほ場を見回り、発生を確認したら薬剤防除を実施する（防除薬剤は表2を参照）。

4 防除上注意すべき事項

- (1) ハスモンヨトウは、葉の裏や鉄骨パイプ等に産卵することが多いので、黄褐色の毛で覆われた卵塊を見つけたら除去する。
- (2) ハウスでは、ハスモンヨトウ幼虫は昼間の温度が上昇したときに蕾や葉などを食害するのでほ場をよく観察し防除する。
- (3) 散布した薬剤の効果が劣った時は、別の薬剤に変更する。
- (4) 薬剤の使用にあたっては、農薬使用基準を遵守する。

(参考)

表2 りん翅目害虫の薬剤の室内効果試験結果

系統名	一般名	商品名	薬剤の評価			
			ハスモンヨトウ	タマナギンウワバ	オオタバコガ	コナガ
生物由来	BT剤	ゼンターリ顆粒水和剤	△ キ、は、イ	—	△ キ、は、イ	◎ キ、ハ、は、イ
"	"	バシレックス水和剤	× キ、ハ、は、イ	— キ、ハ、は	—	◎ キ、ハ、は、イ
"	"	ガードジェット水和剤	×	○ キ	△ キ、ハ、は、イ	○ キ、ハ、は、イ
"	"	トアローフロアブルCT	×	—	○ キ、ハ、は、イ	△ キ、ハ、は、イ
"	"	デルフィン顆粒水和剤	△ キ、ハ、は、イ	—	◎ キ、ハ、は、イ	◎ キ、ハ、は、イ
"	"	フローバックDF	◎ キ、ハ、は、イ	—	× キ、ハ、は、イ	◎ キ、ハ、は、イ
"	"	エスマルクDF	—	○	△ キ、ハ、は、イ	△ キ、ハ、は、イ
"	"	クオークフロアブル	— キ、ハ、は、イ	—	× キ、ハ、は、イ	◎ キ、ハ、は、イ
"	"	サブリーナフロアブル	— キ、は、イ	—	△ キ、は、イ	— キ、ハ、は、イ
"	"	ダイボール水和剤	—	— キ、ハ、は	—	◎ キ、ハ、は、イ
IGR	クロルフルアズロン乳剤	アタプロン乳剤	○ キ、ハ、イ	× キ、ハ	◎	△ キ、ハ
"	フルフェノクスロン乳剤	カスケード乳剤	○ キ、は、イ	— キ	△	△ キ、ハ
"	テフルベンスロン乳剤	ノーモルト乳剤	◎ キ、イ	— キ、ハ	—	○ キ、ハ
"	テブフェンジドフロアブル	ロムダンフロアブル	◎ イ	—	◎	—
"	ルフェスロン乳剤	マツチ乳剤	◎ キ	—	◎	△ キ、ハ
"	ホキシフェリッド水和剤	ファルコンフロアブル	○ キ、イ	— キ	— キ	○ キ
"	クロマフェンジド水和剤	マトリックフロアブル	— キ、イ	—	○	—
ネオニコチノイド	アセタミプリド水溶剤	モスピラン水溶剤	×	—	—	× キ、ハ
"	フィプロニルフロアブル	プリンスフロアブル	—	× キ	—	— キ、ハ
ネライストキン	カルタップ水溶剤	パダンSG水溶剤	×	—	—	△ キ、ハ
"	チオンスクラム水和剤	エビセクト水和剤	×	×	—	◎ キ、ハ
"	ペンシルタップ水和剤	ルーバン水和剤	—	—	—	○ キ、ハ
カーハメート	チオジカルブフロアブル	ラービンフロアブル	△ キ、ハ、イ	○ キ、ハ	△	—
"	メソミルDF	ランネット45DF	△ キ	× キ	×	× キ、ハ
"	アラニカルブ水和剤	オリオン水和剤40	△	— キ	—	—
"	NAC水和剤	マイクロデナボン水和剤85	×	キ、ハ	—	—
有機リン	PAP乳剤	エルサン乳剤	△ キ、ハ	× キ	—	△ キ、ハ
"	クロルピリホスメチル乳剤	レルダン乳剤25	◎ キ、ハ	—	—	— キ、ハ
"	DEP乳剤	ディプテレックス乳剤	×	—	—	× キ、ハ
"	プロチオホス乳剤	トクチオン乳剤	△ キ	— キ	—	△ キ、ハ
"	DDVP乳剤50	DDVP乳剤50	△	×	—	× キ、ハ
"	アセフェート水和剤	オルトラン水和剤	— キ、ハ	○ キ	—	— キ、ハ
"	CYAP乳剤	サイアノックス乳剤	×	— キ、ハ	—	— キ、ハ
"	ピリミホスメチル乳剤	アクテリック乳剤	—	—	—	○ キ
ピレスロイド	エトフェンプロックス乳剤	トレボン乳剤	△	◎	×	× キ、ハ
"	ペルメトリン乳剤	アディオン乳剤	△	— キ	—	× キ、ハ
"	ピフェントリン水和剤	テルスター水和剤	×	◎	—	— キ、ハ
"	トラロメトリンフロアブル	スカウトフロアブル	×	—	—	— キ、ハ
"	フルバリネート水和剤	マブリック水和剤20	× キ	— キ、ハ	—	— キ、ハ
ピレスロイド・有機リン	フェンハレート・マラソン乳剤	ハクサップ乳剤	×	◎ キ	△	× キ、ハ
"	クロルフェナピルフロアブル	コテツフロアブル	△ キ、イ	— キ	△ キ	△ キ、ハ
"	エマメクチン乳剤	アフーム乳剤	◎ キ、は、イ	◎ キ	◎ イ	○ キ、ハ、は
"	ジアフェンチウロン水和剤	ガンバ水和剤	△ キ	—	—	× キ
"	スピノサド顆粒水和剤	スピノエース顆粒水和剤	△	— キ	—	◎ キ、ハ
"	ピリダリル水和剤	プレオフロアブル	○ キ、イ	—	× キ、ハ、イ	— キ、ハ
"	インドキサカルブフロアブル	トルネードフロアブル	— キ、イ	— キ	◎	— キ、ハ
"	ノバルロン水和剤	カウンター乳剤	◎ キ	—	—	× キ

注1 本県及び他県の薬剤感受性試験をもとに作成

(ハスモンヨトウ:大阪、千葉、栃木、香川、山口、タマナギンウワバ:兵庫、オオタバコガ:大阪、愛媛、山口、コナガ:山口)

注2 評価については次のとおり(死虫率は補正死虫率)

◎効果が高い(死虫率85%以上) ○効果はある(死虫率65~85%) △効果にふれがある ×効果が低い(死虫率65%未満) —データ未確認

注3 キャベツ、ハクサイ、はなっこりー、イチゴについて、使用できるものを次のように示した。(キ:キャベツ、ハ:ハクサイ、は:はなっこりー、イ:イチゴ)

注4 作物により適用の内容がことなるので、登録内容を必ず確認する

注5 効果については室内実験で行われており、現場での効果を保証するものではない

注6 IGR剤については、気温が低くなり幼虫の成長が遅くなるため、効果発現に時間がかかるので注意する

山口県病害虫防除所 担当 畑中 TEL. 083-927-4006 FAX. 083-927-4071
--